



野月 一博
(高志会)

定住自立圏構想

福祉関係の連携は

子育て支援の充実等を想定

議員 定住自立圏構想の連携項目のうち、生活機能の強化として福祉関係では具体的にどのような事業を想定しているか。

企画財政部長 安心して子育てができる環境を提供するため、病児・病後児保育事業や子育てを会員同士で助け合うファミリーサポートセンター事業に関し、対象を関係市町村の住民に拡大することにより広域利用の推進を図ることを想定しています。

議員 交通の要所である焼山地区を活性化することで、十和田湖、奥入瀬の観光振興につなげられると思うがその考えを問う。

市長 焼山地区は古くから温泉地として知られ、十和田湖、奥入瀬溪流

の玄関口に当たります。

また、現代美術館や新渡戸記念館などの市街地や八甲田地区から十和田湖方面へつながる中間に位置することから大変重要な観光拠点と認識しています。このことを踏まえ、焼山フラワーガーデン事業や温泉試掘など、花と温泉のまちづくりに取り組むとともに誘客イベントの実施などにより一層の魅力づけに取り組みでいきたいと考えています。

議員 焼山地区でアートのイベントを予定しているようだが、全的に拡大し定期的に芸術祭として実施する考えは。

観光商工部長 奥入瀬溪流館を中心に作品の展示や、十一月には若手アーティストを全国から公募し、焼山の自然の中で未



定住自立圏形成協定合同調印式より

農業用水路発電設置の考えは

手続き等について情報交換中



小村 初彦
(公明党)

合会において県内全域を対象に、導入の可能性について調査が行われました。その結果、十和田市にも候補地があり、現在は十和田市、青森県、関係土地改良区等で構成する勉強会において補助制度や採算性等について情報を交換しています。



クリーンエネルギーとして注目される用水路発電

ることを目的に実施されています。市でも自然と共生するまちづくりの実現や環境問題への市民意識の高揚を図る観点から検討する必要性を感じており、今後は国や他自治体の動向を見きわめながら調査、研究していきたいと考えています。

議員 いじめ問題に対する市の取り組みは。

議員 クリーンエネルギーとして注目される水力発電の導入を後押しするため、設置に際して手続き等の簡素化が図られている。十和田市でも調査が行われたようだが、農業用水路発電の設置を促進する考えは。

農林部長 青森県及び青森県土地改良事業団体連

議員 経済活性化のためにも、市独自でエコカー購入に対する助成制度を創設する考えは。

民生部長 現在国で行っているエコカー補助金制度は、環境にすぐれた新車の購入促進により環境対策、国内市場の活性化を図

各学校に対し未然防止、発生の対応、他機関等との連携という三つの視点で指導しています。未然防止では子供や保護者の訴えを真剣に受けとめ早期発見に努めます。発生の対応では迅速に事実関係を把握し、解決に向け取り組みます。他機関等との連携では、いじめ対応の方針を家庭、地域と共有し保護者等の理解や協力を求めます。また、児童相談所や警察等の関係機関と連携します。今後も各学校との連携をとりながら取り組んでいきます。